

おねがい

コロナ禍でも**子どもが笑顔になる活動**、

その名は、**われらのこどもプロジェクト**

コロナ禍の影響で生活にゆとりがない人

が増えています。

とりわけ、子ども食堂や学習支援の活動は、

密になりがちで困難な状態に陥っています。

私たちは、**子ども食堂とその活動を支援して**

くださる方をつなぐ活動しています。

私たちといっしょに

この活動に参加しませんか。



われらのこどもプロジェクト



〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101

中京大学 現代社会学部 成元哲研究室

TEL&FAX : 0565-46-6516

E-Mail sungwonc@sass.chukyo-u.ac.jp

URL <https://warera-kodomo.jimdofree.com/>



われらのこどもプロジェクト

子ども食堂、
フードパントリー、
学習支援など、

子どもたちの健康と幸せを守る活動



われらの子どもプロジェクトとは

中京大学 成元哲ゼミナールの教員と学生が、愛知県内の子ども食堂、フードパントリー（食材のおすそわけ）、学習支援の場などでお手伝いしながら、参加した親子の声を集めてまとめるなど、**後方支援**をしています。**子ども食堂**は、貧困や孤食が社会問題となる中で地域の子どもたちに無料または安価で食事を提供する民間の取り組みです。**フードパントリーの活動**は、食材を介して寄付者と子どもをつなぐ活動です。食材の寄付集めに同行し、集まった食材を運び入れ、仕分けする作業をお手伝いしています。フードパントリー当日は食材を手渡し、受け取った子どもや親御さんの声を寄付した企業や関係者にフィードバックする必要があります。こうした隙間を埋める作業が、私たちの活動です。



子ども食堂と学習支援団体に向けて行われたフードパントリーの活動に参加
(2020年8月22日)

ゼミの活動を通して



私たち成ゼミは、2016年から愛知県内の子ども食堂にボランティアとして参加し、記録をとる活動を続けております。活動を始めた当初は、愛知県内の子ども食堂がどれほど存在しているのか、そのデータすら存在していませんでした。

そこから、県内各地の子ども食堂に出かけて、愛知子ども食堂マップ、パネル、報告書などを作成しました。報告書は、愛知県内の関係各所に送付しています。

このデータは愛知県や名古屋市などにも活用され、愛知県内の居場所づくりの活動に大きく貢献してきました。

こういった活動で得られた経験を生かし、多くの学生が、名古屋市役所などの役場や、子ども食堂に関係する企業・団体などに就職し、更にその活動の輪を広げています。

今年はコロナ禍が襲来し、子ども食堂がこれまでの居場所での開催が叶わず、フードパントリーに切り替え、子どもたちとつながる活動を続けています。

今後も「われらのこどもプロジェクト」は、未来ある子どもたちが笑顔になる活動を続けます。

